

HTML TIPS & TRICKS

第53回

誰よりも早く 最新のHTMLを使ってみよう

藤井幸孝 / 大内 勇 / 高橋登史朗 / 佐藤和人

今回はインターネットエクスプローラ6の新機能を使ったTIPSを紹介したが、すでに自分のモノにできただろうか。今回も引き続きマウスホイールやトランジションフィルターの活用など、IE6の新機能を使ったなかでも応用性たっぷりのTIPSを中心にしてお送りするので、今のうちにオリジナルTIPSを編み出して、正式版のリリースと同時に閲覧者を驚かせよう。



CD-ROM収録先 Magnavi Ip0107 Hhtmltips
今月号のTIPSをすべてCD-ROMに収録!!

このコーナーを楽しむために

最新のHTMLを使う際に、どうしても避けて通れないのがWWWブラウザの互換性の問題だ。そこでこのコーナーでは、TIPSごとにブラウザの対応状況をアイコンで表している(5月10日現在)。これを参考に使用するWWWブラウザを選んでほしい。



- インターネットエクスプローラ4以上
- インターネットエクスプローラ5以上
- インターネットエクスプローラ5.5以上
- インターネットエクスプローラ6(パワフルプレビュー)
- ネットスケープナビゲーター4以上
- ネットスケープ6以上
- Mozilla

6月号「HTMLパズルに挑戦しよう」の解答

CSS 1の基本なのだが、これまでIEが未対応のために試せなかった機能を取り上げてみた。IE 6は、第1問の(1)のように<!DOCTYPE ~>でStrict型のDTDを宣言しておく、CSSのいくつかの項目で、規格に厳密に沿った表示を行う。この宣言がないと、IE 6は「互換モード」になってIE 5.5以前と同じ動作をする。



ANSWER 1 centerなしでセンタリング!

(2)のようにテーブルの左右のマージンに「auto」を指定するのが正しいセンタリングだ。「text-align:center」を指定した場合は、そのブロック全体ではなく、ブロックの中のテキストが中央寄せになるのが規格に沿った動作と言える。



```
<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN">
```



```
TABLE { margin-left: auto; margin-right: auto; }
```



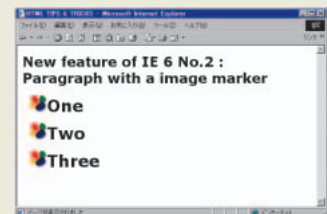
正解者: ENDEさん、坂部和久さん、Masahiko Murataさん、なるるさん、堀江さん



ANSWER 2 自動的に画像をいれる!

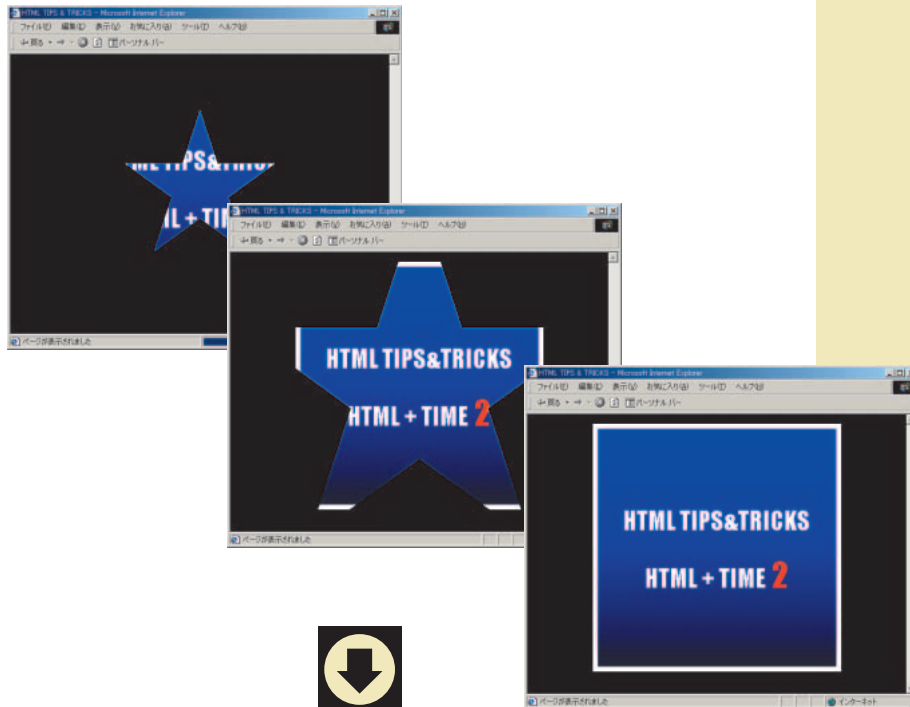
displayプロパティに「list-item」を指定すると、<P>タグもタグと同じようなリスト表示になる。あとは、おなじみのlist-style-imageプロパティを使って黒い点の代わりに画像のURLを指定する。

```
P.plist { margin-left: 48px; margin-bottom: 16px;  
display: list-item; list-style-image: url(p2.gif); }
```



正解者: ENDEさん、坂部和久さん、Masahiko Murataさん、なるるさん、堀江さん

TIME2を使って画面に動きを加える



以前、スクリプトをいっさい使わずに、「HTML+TIME」でダイナミックな効果をホームページで演出するテクニックを紹介したが、ここでは「HTML+TIME2」という、さらに一歩進んだテクニックを紹介する。

「HTML+TIME2」はIE5.5から使えるテクニックなのだが、今回はトランジション・フィルターと組み合わせ、IE6だけで動くサンプルに仕上げた。

左のサンプルはこのテクニックを使い、星型の領域が徐々に拡大していくようすをあらわしたものだ。

この方法は、いくつかの属性値を指定するだけで簡単に使えるテクニックなので、気軽にトライしてみよう。 (大内 勇)

```
<HTML xmlns:t="urn:schemas-microsoft-com:time">
<STYLE TYPE="text/css">
.time { behavior: url(#default#time2) }
.looks { width:400;height:400;background-color:blue }
</STYLE>
<import namespace="t" urn="urn:schemas-microsoft-com:time" implementation="#default#time2" />
<DIV ID="obj" CLASS="time looks">
HTML TIPS&TRICKS<br>
<t:transitionFilter TYPE="starWipe" BEGIN="obj.begin" SUBTYPE="fivePoint" DUR="4" MODE="in"
FROM="0" TO="1" CALCMODE="linear" REPEATCOUNT="1" />
</DIV>
```

Point

それではソースの説明を始めよう。<HTML>タグには「xmlns」を使って名前空間という位置を指定する。この名前空間はXMLの一部なのだが、これを解説すると非常に長くなってしまいますので、ここでは「urn」で指定した位置にあるリソースにtという名前をつける」と理解しよう。

次はスタイルシートの指定で、最初の「.time」がHTML+TIME2を使うための指定方法で、必ずこのフォーマットを指定する。次の「.looks」は一般的なスタイル指定だが、今回のサンプルを使う場合は最低でも「width,height;background-color」の3つを指定しておく。

<import>タグの部分は、このHTML文書に名前空間「t」のリソースと、HTML+TIME2を使うための属性を適用させるための指示だ。

<DIV>タグで指定した範囲が、HTML+TIME2を使ったトランジションフィルターの適用される部分

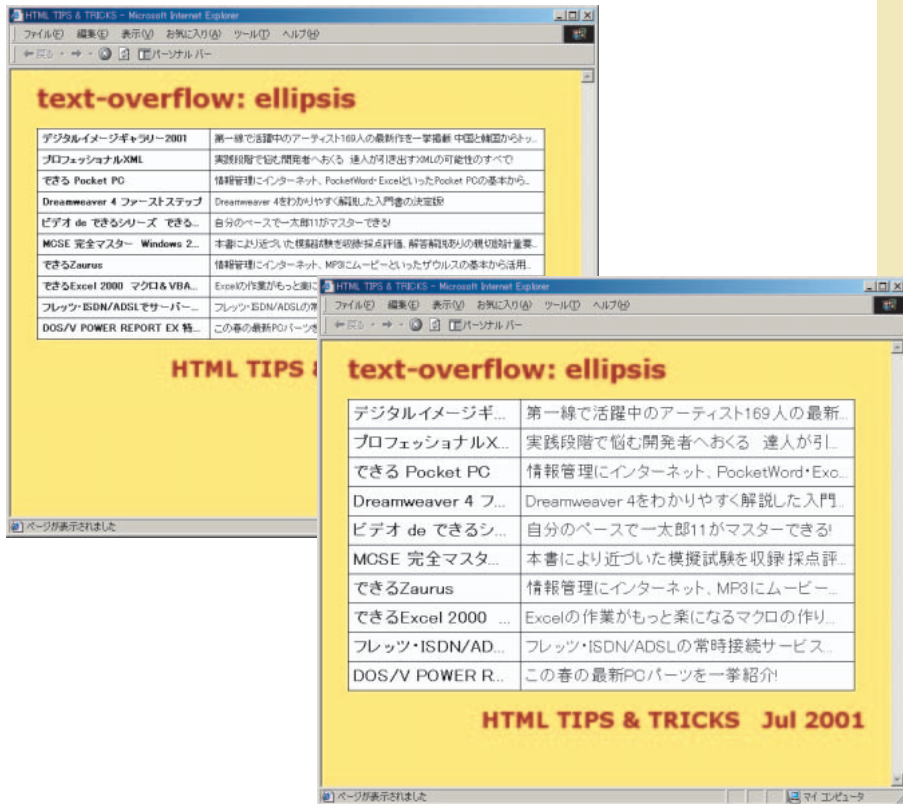
だ。CLASS属性を見ると値が「time looks」と見慣れない形になっているが、これは2つのスタイル指定を同時に適用する手法である。<DIV>タグの中の<t:transitionFilter>で始まっている部分が今回のキーポイントになるので、それぞれの属性値の指定方法を簡単に説明しておく。

TYPE,SUBTYPE : 表を参照
BEGIN : ソースと同じように指定
DUR : アニメーションの動作する時間(秒)
MODE : フィルターの反転(inまたはout)
FROM : 始点(0~1の範囲。例:0.2)
TO : 終点(同上)
CALCMODE : 効果(linearまたはdiscreta)
REPEATCOUNT : 回数(数値)

TYPEとSUBTYPEの組み合わせは、次のとおりだ。

TYPE	SUBTYPE
barnDoorWipe	"vertical
horizontal"	
barWipe	"leftToRight
topToBottom"	
clockWipe	clockwiseTwelve
ellipseWipe	circle
fade	crossFade
fanWipe	centerTop
isisWipe	rectangle
pushWipe	fromLeft
slideWipe	fromLeft
snakeWipe	topLeftHorizontal
spiralWipe	topLeftClockwise
starWipe	fivePoint

入りきらない文字を省略する



先月に引き続き、IE 6 Public Previewの新しいスタイルシートの機能をテストしてみよう。左のサンプルは、横幅を固定した表の中に入っている長さのテキストを入れたものだが、長すぎて収まりきらないテキストに合わせてセルが大きくなることもなく、テキストがいきなり切れてしまうこともない。テキストが省略されていると分かるように「...」という表示が自動的に追加されるのだ。長い表を作るときに、テキストの長短によって思いどおりのデザインができない場合は、IE 6のこの機能を試してみたいかがだろう。

(佐藤和人)



```
DIV.div1 { width: 200px; overflow: hidden;
text-overflow: ellipsis; white-space: nowrap; }
```

POINT

上記のCSSのソースには4つのプロパティがあるが、そのうち横幅を固定するwidthはおなじみのものだろう。それ以外の「overflow」、「text-overflow」、「white-space」について説明しよう。

まず、1つめのoverflowから。この連載で何回か紹介されたプロパティだ。縦や横の長さが固定されているタグでテキストがあふれた場合にどのように表示させるかを指定するものだ。次のように値を「scroll」にすれば、自動的にスクロールバーが現れて、はみ出した部分がスクロールで読めるようになる。

```
width: 200px; height: 100px; overflow: scroll;
```

overflowを指定しないと、長さを固定したつもりでも、テキストに合わせてタグの領域は拡大さ

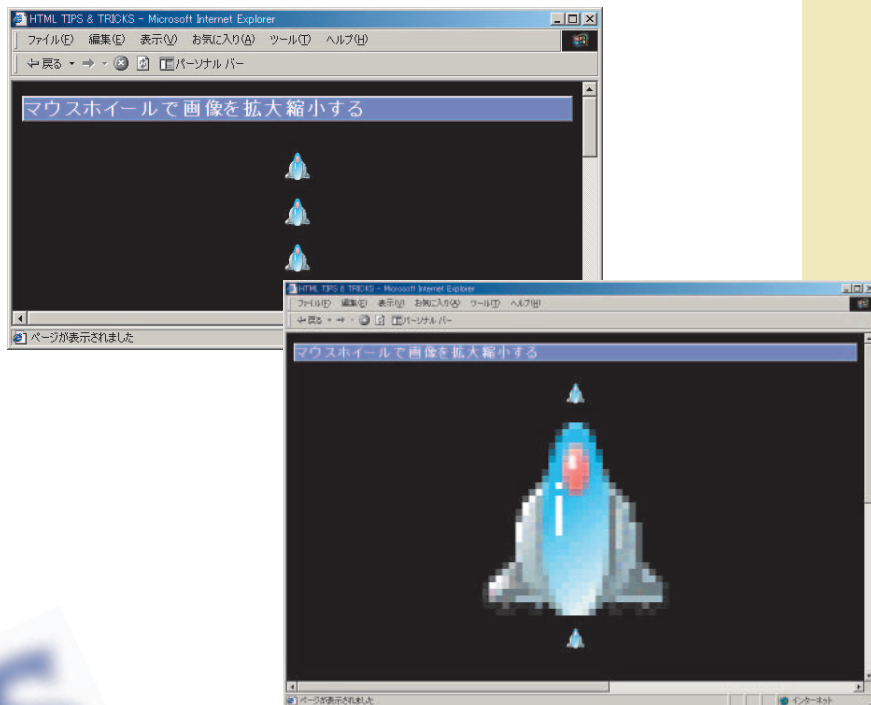
れてしまう。今回のTIPSでは、値を「hidden」にして、はみ出した部分は隠されるようにした。ちなみに、<TEXTAREA>タグで文章をスクロールさせて読ませるページがよくあるが、スタイルシートを使って<P>や<DIV>タグの大きさを固定し、「overflow: scroll」を指定すれば同じことが簡単にできる。

次にtext-overflow。これがIE 6で独自に追加された新しいプロパティだ（CSS 1や2の仕様にはない）。「overflow: hidden」を指定してテキストが切れてしまった場合に、値に「ellipsis」を指定すると自動的に「...」が付く。残念ながらテーブル関連のタグ<TABLE>、<TR>、<TD>ではtext-overflowがサポートされていないため、ここでは<DIV>タグに指定した。このサンプルの表は、<TD><DIV>テキスト</DIV></TD>のよう

最後にwhite-space。この連載で紹介するのは初めてだろう。値に「nowrap」を指定すると、テキストが折り返し表示されなくなる。
タグを入れて強制改行しない限り、テキストが横に伸び続ける。<NOBR>タグで囲むのとちょうど同じ効果だ。

white-spaceには、もう1つ変わった機能がある。値に「pre」を指定すると、<P>タグでも<DIV>タグでも<PRE>タグと同じようにスペースや改行が反映されて表示されるのだ。使い道はあまりなさそうだが、覚えておいてもいいだろう。以上3つの重要なプロパティでこのテクニックは完成だ。おまけとして、マウスをテキストの上に載せると省略されたテキスト全体がツールチップに表示されるJavaScriptをサンプルに追加している。CD-ROMに収録したソースを見てもらいたい。

マウスホイールで画像を拡大縮小させる



今回は、ウィンドウズ版IE6に追加された新しいイベントを使うTipsだ。

最近のウィンドウズ用マウスに付いているマウスホイールの操作だけで触れている画像サイズを変更するというスクリプトだ。ホイールの情報を拾い、制御に使ってみようというわけだ。もちろん、使う用途はアイデア次第だ。文字のズームなどさまざまな用途が考えられる。ただ、あまり通常のマウスの使い方からかけ離れた動作にはならないようには留意しておこう。

ウィンドウズ版IE6だけの限定機能だが、この使い方ならばほかの環境でエラーは出ないので安心して使ってみよう。(高橋登史朗)



1

```
<script>
function zoomImgSize(oj,w0,h0,w1,h1){
swt = event.wheelDelta
if( swt >= 120 ) { width=w0 ; height=h0 }
else { width=w1 ; height=h1 }
oj.style.width = width
oj.style.height = height
}
</script>
```

2

```

```

POINT

Win版IE6にはonmousewheelというイベントが追加されている。読んで字のごとく、マウスホイールの動作に対応したイベントだ。今回は、このイベントを使ってマウスホイールを動かしたら画像が大きくなったり、小さくなったりするというスクリプトを用意してみた。

まずソース①を見てみよう。タグの中の

```
onmousewheel
```

が今回のポイントだ。

タグの中へ書いているので、その画像上でマウスホイールを動かすとソース②にある

```
zoomImgSize(this,28,30,280,300)
```

が起動されるという仕組みになっている。今回は、

タグを使ったが、他のタグでもかまわない。たとえば<BODY>タグへ書けばページの上でホイールを回したときに反応するし、<DIV>タグでも同様だ。関数zoomImgSize(oj,w0,h0,w1,h1)は、画像を拡大縮小するためのスクリプトだが、ojはズームしたいオブジェクトを指定する。ここでは、タグのなかで直接その画像自身をthisキーワードを使って指定しているのでほかに画像名などを調べる必要はない。w0,h0で縮小時の幅と高さ、w1,h1へ拡大時の幅と高さを指定すると、この関数が起動したときに画像が大きくなったり、小さくなったりしてくれる。

```
swt = event.wheelDelta
```

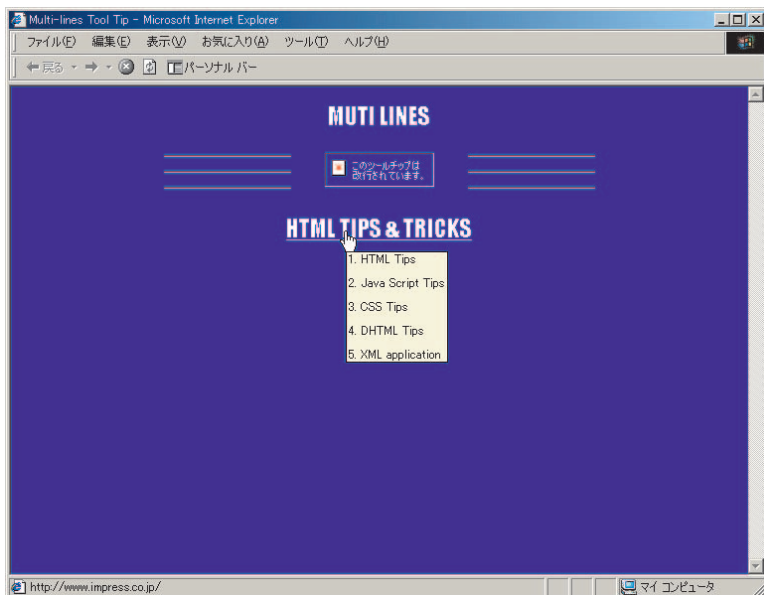
は、ホイールの動作を取得して変数swtへ格納している。ホイールを動かすと120の倍数が返って

くるのだが、手前へ(ユーザー側)まわせばマイナス、反対へまわせばプラスの値になる。

```
if( swt >= 120 ) { width=w0 ; height=h0 }
else { width=w1 ; height=h1 }
```

は、手前に回せばサイズにw1,h1を適用し、反対へまわせばw0,h0を適用するという意味だ。そして、ここでセットされた変数widthとheightを実際に動かしたい画像(oj)のwidthとheightへ代入すると、サイズが変わってくれるというわけだ。

ツールチップの文章を改行させる



この連載ではこれまでもツールチップ(ポップアップヒント)を作り出すTipsをいくつも紹介してきた。IE5のXMLとDHTML Behavior機能を使うものやIE5.5のcreate Popup関数を使うものなどだが、覚えているだろうか? 今回はそのなかでも、もっともシンプルなalt属性を使うタイプを応用して、複数行のツールチップを作る方法を紹介する。IE5以外の環境だと改行されないが、ツールチップとしての役割を持たせたままにはしておけるので、気軽に試してみよう。(藤井幸孝)



1

```

```

2

```
<a href="http://www.impress.co.jp/"
title="1. HTML Tips&#13;
2. Java Script Tips&#13;
3. CSS Tips&#13;
4. DHTML Tips&#13;
5. XML application">HTML TIPS & TRICKS</A>
```

POINT

DHTML Behavior や window.createPopup 関数を使う場合、ツールチップの文章部分は本文とは別のオブジェクト、別のウィンドウとして用意することになる。そのため文章は通常のHTMLとして作成でき、
 タグを使えば簡単に改行ができる。だからツールチップが長い文章だった場合にも困ることはなかった。

だが、どちらもIEでしか正しく表示されないうえに、createPopup の場合はさらに5.5のみサポートという制限がついている。必要なスクリプトもやや長めになるので面倒だった読者もいるだろう。

一方、今回紹介する alt 属性を使うタイプは、現在出回っているブラウザならたいたい対応しているし、JavaScript も不要なので準備が非常に簡単だ。今回のテーマである「改行」は残念ながら Netscape では対応していないが、とりあえず1行で表示させることは可能だ。

さっそくサンプルコードを見てみよう…… というまでもないほど簡単だ。alt 属性にツールチップの文章を書くとき、改行したい部分で「」を書いておけばいい。IE5以上のブラウザで見てみると、ツールチップが改行されているのがわかるだろう。このTipsは、alt 属性のほか、title 属性でも使用できる。 タグでは alt 属性を使い、アンカータグでは としてやれば同じような効果が得られるぞ。(ただし Netscape は title 属性に対応しない)

少し難しい話をしてみると、「&#**」は「文字参照」と呼ばれる、特定の文字をコード番号で指定する方式で、タグで使用されている「<」や「>」を表示したいときに使う「<」や「>」(これらは正式には文字実体参照と呼ばれる。)の仲間だ。「&#**」

を使うと、直接 Unicode における文字コード番号を指定できるので、普通のテキストエディターでは入力できない文字を書きこみたいときなどに便利だ。「」は制御文字(改行やデリートなど)に使われる番号であり、IEではこれを、改行コード的に使用しているようだ。ただし、正確には改行コードとは若干違い、むしろ<PRE> タグに近い効果がある。いくつかサンプルを書いてみればわかるとおり、このコード「」のあとは、通常の改行やスペースが有効になっているはずだ。「」を2つ連続で使用することで1行空き文を作成できるが、ソースを整形したい場合はサンプルの後半のように、「」のあとに改行を入れてもよい。

HTMLパズルに挑戦しよう

隠されたトリックを解き明かせ!



今月のテーマ

・スタイルの切り替えを制する

<STYLE>タグやSTYLE属性ではなく、外部スタイルシート(CSSファイル)を使う利点の1つに、いろいろなデザインのスタイルを用意すれば、いつでも簡単に切り替えられるということがある。HTMLを書き換えなくても、ページの作者や訪問者の気分に合わせて好きなときに好きなスタイルを選べる仕掛けを作れば、ページの魅力もアップするにちがいない。そこで今月は、外部スタイルシートをダイナミックに扱うパズルに挑戦していただく。正解者には抽選で1名にオリジナルバインダーをプレゼントさせていただく。なお、正解は来月のこのコーナーで発表する。それでは頭をやわらかくして、今月のテーマ"スタイルの切り替えを制する"にチャレンジ!

「HTMLパズルに挑戦しよう」宛て先

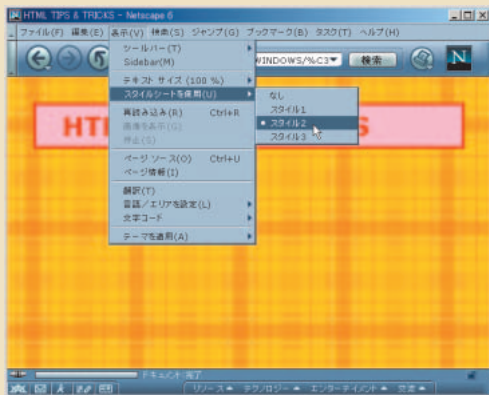
正解がわかった人も、わからなかった人も、ご意見、ご感想など何でもOK、次の宛先にメールしよう。用件の欄には必ず
HTML TIPS & TRICKS
の1行を忘れずに。あなたの挑戦を待つ!

✉ im-html@impress.co.jp

なお、締め切りは6月10日とさせていただきます。

QUESTION 1

メニューからスタイルを選べ!



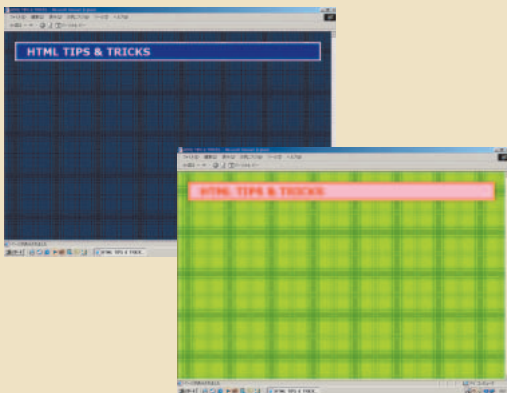
ネットスケープ6のメニューで「表示」を選ぶと、「スタイルシートを使用」という項目がある。しかし、何に使うメニューなのか分からない人がほとんどだろう。実は左のサンプルのように、ページの作者が用意した複数の外部スタイルシートのなかからユーザーが好きなものを選べる機能なのだ。ただし、HTMLのなかでそれなりの仕掛けを作る必要がある。外部スタイルシートを指定する<LINK>タグをいくつか書いておいて、ネットスケープ6にこのようなメニューを出させるのが第1問だ。HTML 4の仕様書 (<http://www.asahi-net.or.jp/~sd5a-ucd/rec-html40ij/cover.html>) でスタイルシートに関する部分をよく読んでみよう。



<LINK>のREL属性とTITLE属性.....

QUESTION 2

時間によってスタイルを変える!



第2問は、1998年9月号のこの連載で紹介したTIPS「時間によってスタイルを変える」と同じ機能のJavaScriptを書く問題だ。3つの外部スタイルシートを用意して、朝、昼、夜にそれぞれ別のスタイルでページが表示されるようにしたい。JavaScriptで時刻を調べてページに変化を付ける技は、この連載の読者ならお手のものだろう。ただし、document.writeを使って<LINK>タグを書き込むという手法は取らない。第1問と同じようにHTMLにあらかじめ3つの<LINK>タグを書いておいて、適用されるスタイルをJavaScriptで切り替えるのが条件だ。やり方はいくつか考えられるが、なるべくスマートな方法で実現してもらいたい。



<LINK>タグが有効かどうかを切り替える.....



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp